

令和6年4月 教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和6年4月23日（火）10時00分～11時40分
開 催 場 所	半田市役所 庁議室
出 席 委 員	教 育 長 鈴川慶光 委 員 桂 優子 委 員 新美 大 委 員 久米宏和 委 員 正村日登美 委 員 堀崎隆資
説明のため出席した職員	教 育 部 長 森 田 知 幸 学 校 教 育 課 長 内 藤 誠 主任指導主事 木 下 稔 章 指 導 主 事 高 下 隆 史 指 導 主 事 西 尾 睦 美 給 食 セ ン タ ー 所 長 榊 原 秀 夫 生涯学習課長 青 木 美 希 ス ポ ー ツ 課 長 加 藤 計 志 図 書 館 長 藤 井 寿 芳 博 物 館 長 関 正 樹 新美南吉記念館長 遠 山 光 嗣
事 務 局	学校教育課総務担当主査 羽根 広
報 告 事 項	<p>■議案</p> <p>(1) 令和6年度半田市一般会計補正予算について</p> <p>■報告事項</p> <p>(1) 寄附、後援願等について</p> <p>(2) 令和6年度半田市教育支援委員会委員の委嘱について</p> <p>(3) 令和6年度半田市幼児教育支援委員会委員の委嘱について</p> <p>(4) 令和6年度半田市子どもサポート会議委員の委嘱について</p> <p>(5) 令和6年度学校・幼稚園訪問実施要項について</p> <p>(6) 令和5年度学校運営協議会の活動報告（成果と課題）について</p> <p>(7) 令和6年度学校運営協議会委員等の委嘱について</p> <p>(8) 児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について</p> <p>(9) 令和6年度生徒会サミット年間計画について</p> <p>(10) 令和5年度文化活動全国大会等出場激励金の支給実績について</p> <p>(11) 令和6・7年度半田市スポーツ推進委員の選任について</p> <p>(12) 各種事業について</p> <p>①セントラル愛知交響楽団との協定事業の実績報告及び事業計画について</p> <p>②2024年度 音楽イベントリスト「音楽のあるまち半田」について</p> <p>③「ちいさいちいさいおたのしみ会」について</p> <p>④亀崎図書館「オタツシャ音読教室2024 皐月」について</p> <p>⑤初夏の旧中埜家住宅一般公開について</p> <p>⑥正八ちゃんの端午の節句について</p> <p>⑦童話創作講座について</p>

	⑧企画展「君は即ち春を吸いこんだのだ～南吉のセンス・オブ・ワンダー～」解説パンフレットについて
各課事務連絡	特になし

＜議事録＞

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 2月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長) 3月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。 令和6年度が始まり、各学校順調にスタートしている。委員の皆様方においては、教職員受入式、小中学校の入学式、幼稚園の入園式に出席いただき感謝する。 幼稚園の入園式では保護者から離れられない子や座ってられない子がいるが、中学校を卒業するまでにはどの子どもも立派になっている。幼稚園の3年間と小中学校の9年間という子どもたちにとって非常に大きな意味を持つ12年間を、教育委員会として子どもたちを預かり成長の一端を担っていることについて、大切な役割を任せられていると改めて感じた。 3月下旬から4月にかけて各地で春のお祭りが開催されたが、花園小学校や岩滑小学校など学校に山車を入れる地区もあり、多くの子どもたちが参加していた。一方で、どの地域でも共通の課題として後継者不足との声があり、子どもたちに参加してもらえよう工夫しているとのことだった。地域の伝統文化に触れることはとても大事なことで、山車組の方々も学校に出向いて話をしてくださったりしているので、学校側としても子どもたちが祭りに参加したいと思うような取り組みをしていけるよう、現場の先生にも関心を持ってもらえるようにしたい。 31日、半田ジュニアブラスバンドの定期演奏会に参加したが、ここでも後継者不足の話があった。今年度は26人の団員で活動しているが、高校生が8人、中学生が11人、小学生が7人ということで、少し減ったよう。 4月14日には半田少年少女合唱団の総会に出席したが、こちらは今年度54人の団員で活動しており、大学生が3人、高校生が8人、中学生が12人、小学生が31人、うち新入会員が15人とのことだった。 こういった活動も土日に実施しており、各学校の吹奏楽部や合唱部の子どもたちが部活動改革後の選択肢の一つとして行けるといい。9月に向けて文科系・スポーツ系ともに準備を進めているところだが、地域の人々の協力を得ていかなければならない。 4月3日、令和6年度1回目の知多教育事務協議会があった。人事に関する報告の中で、半田市では29名、知多半島全体では158名の新任の先生や事務職を採用し、かつ、定年延長により60歳を超えても現場に残る先生方がいるにもかかわらず、各市町で教員が不足しているとのことだった。半田市でも一部不足はあるものの、主なところへの配置はできている。 18日午後、全国学力学習状況調査が行われた。結果は6～7月頃に出ると思うが、やはり大事なのは子どもたちが意欲的に授業に取り組むことであり、タブレット等も活用しながら子どもたちの意欲感心を高められる授業づくりをしていかなければならないと学校訪問等を通して伝えていきたい。</p>

<p>3. 議題</p> <p>■議案</p> <p>1) 令和6年度 半田市一般会計 補正予算</p>	<p>(給食センター所長)</p> <p>市議会5月臨時議会に上程する歳出の補正予算について説明する。</p> <p>補正額は54,239千円で、増額理由は2点ある。1点目は、新学校給食センターの建設工事は、「建築」「電気」「空調」「管」「厨房」の5つの工事業者と契約しており、その予定価格を算出するにあたっては、令和4年10月から適用された「公共建築工事積算単価表」に基づき積算した。その単価表は愛知県が定めたもので、労務単価の他、資材単価も含まれている。</p> <p>このたび、5つの工事業者のうち「建築」「電気」「空調」の3者から特例措置に基づき請負契約金額変更の請求があったので、令和5年3月から適用された新単価表に基づき、労務単価及び資材単価を積算し直した結果、請負契約金額に変更が生じたものである。</p> <p>新学校給食センターの建設工事は、令和6年7月12日を工期予定としているため、6月議会までには変更契約の承認を得る必要がある。しかしながら、6月議会で議案を上程するためには、それ以前に予算措置が必要となるため、このたびの5月臨時議会で補正予算を上程することとなった。</p> <p>次に、2点目の理由は、昨年12月議会で「管工事」の変更契約を行ったが、その増額分61,479千円の予算措置をする際、令和5年度が53%、令和6年度が47%と、出来高割合に応じて予算措置をした。ところが、半田市財務規則に、部分払いをする際には、今回では令和5年度分に10分の9を乗じなければならないという規定があることがわかったため、令和6年度予算において、3,259千円の不足額が生じてしまったものである。</p> <p>(新美委員)</p> <p>以前にも同様の契約変更はあったと記憶しているが、特例措置による金額変更の請求はこれで最後か。</p> <p>(給食センター所長)</p> <p>今回が最後となる。</p> <p>(教育長)</p> <p>では、ただいまの提案のとおりとしてよろしいか。</p> <p>(全委員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(教育長)</p> <p>承認いただいたので、この内容で進めてください。</p>
<p>■報告事項</p> <p>1) 寄附、後援 願等</p>	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附は0件。 ・19件の後援名義を許可。

<p>2) 令和6年度 半田市教育支援 委員会委員の委 嘱</p> <p>3) 令和6年度 半田市幼児教育 支援委員会委員 の委嘱</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>「教育支援委員会委員の委嘱」と「幼児教育支援委員会委員の委嘱」は、関連があるため一括して報告する。</p> <p>教育支援委員会は、障がいのある児童生徒の保護者に対し、就学上の支援と助言を行なうもので、名簿にある16名に委嘱する。人事異動等により、昨年度から6名の方が交代となっている。</p> <p>幼児教育支援委員会は、障がいのある又はその疑いのある幼児の保護者に対し、就園上の支援と助言を行うもので、名簿にある9名に委嘱する。人事異動等により、昨年度から3名の方が交代となっている。</p>
<p>4) 令和6年度 半田市子どもサ ポート会議委員 の委嘱</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>不登校問題等をはじめ、幅広く学校支援活動を行うもので、名簿にある24名に委嘱する。人事異動等により、昨年度から11名の方が交代となっている。</p>
<p>5) 令和6年度 学校・幼稚園訪 問実施要項</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>知多地方教育事務協議会から出された今年度の学校訪問実施に関する資料を元に説明する。まず、趣旨が記載されている。「幼・小・中学校教員研修の手引」は毎年度刷新され、令和6年度版の1・2ページには「中高一貫校について」の内容が示されている。中高一貫教育導入のねらいは、「チェンジ・メーカーを育てる」をキーワードに、人々と協働しながら、失敗を恐れずにチャレンジし、社会に変化を起こす人材を育成することにある。第一次導入される半田高等学校附属中学校が令和7年4月に開校となる。高校受験の影響を受けないゆとりある環境の中で、課題解決型学習を重視して生徒の学習意欲や探究心を引き出すと、中高一貫校の特徴が示されている。ただし、こういった目標は中高一貫校に限られたものではなく、小中学校で育てるべき「生きる力」の中には、予測困難な社会の変化に対して、多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができる力を育むことが含まれている。これから迎える新しい時代に対応できる児童生徒を育てていくことが学校教育には求められる。そういった視点をもちながら、訪問校の教育上のよさや課題点などを見極めて、各校がテーマをもってすすめている現職教育の推進を援助していきたいと考える。</p> <p>また、今年度も半田市の教育目標の大切なキーワードとして「地域とともに」を掲げている。学校訪問で指導する着眼点の中にも示されている、「地域の特色を生かした学校づくり」や「地域に開かれた学校づくり」といったような、地域に開かれた教育活動の展開がなされているか、という視点でも見ていただきたい。</p> <p>ここまでの説明は、学校訪問を行う上で、一つの視点としてお示しさせていただいたが、ここでお伝えしたことにとらわれることなく、委員の皆様には様々な角度から教職員に対して忌憚のないご指導やご助言がいただけるとうれしい。</p> <p>次に、令和6年度の幼稚園訪問の概要について説明する。委員の皆様には、1に掲げてある3つの目的を踏まえて、ご指導いただけるとありがたい。</p>

い。幼稚園においても、各園がテーマをもって現職教育を進めている。幼稚園では、特設保育時間を設定しているが、全員の教諭がその時間を参観し、学び合う場として位置付けている。午後の協議会でも、全員で参観した特設保育時間を中心に、研究協議をするが、委員の皆様には、参観いただいた園児の活動の様子を通して、幼稚園教諭の声かけやかかわり方が適切であったかどうかご指導いただけるとありがたい。その他、お気づきのことについても、ご指導・ご助言いただきたい。

また、昨年度同様、市議会議員の皆さまにも案内をし、参観を呼びかける。さらに、市内の7つの県立学校にも案内する。今年度は、中高一貫校とのつながりも踏まえて、県立学校もできるだけ参観したいという話も聞いている。

令和6年度 半田市立小中学校・幼稚園訪問予定については、3月の定例教育委員会で報告した後に、知多事務所の指導主事や学校教育課事務局職員など、訪問者名を追加した。また、表の事務所／指導教諭の欄に「養」と書かれている学校については、初任者および5年目を迎える養護教諭を対象とした指導を別に行う予定である。養護教諭等の学校訪問の詳細においては、別途記載されているので、ご確認ください。

(堀崎委員)

今年度は市内17校に通級の拠点校が整ったので、学校訪問の要項に通級教室の概要を入れるなど、どこかで補足していただきたい。

(主任指導主事)

通級や特別支援学級についても参観できるよう事前打ち合わせで調整したい。

(新美委員)

この手引きは現場の先生方にも共有されているのか。

(主任指導主事)

全員に配布され、校長がしっかりと読み込むよう指導している。

(新美委員)

今回、中高一貫校が半田にも開校する。これは、非常にいいことだと思っている。

今、日本の国力が下がってきていると言われており、それは、中高一貫校のねらいにもある「チェンジメーカー」と呼ばれる国のリーダーになるような人が減っていることも要因の一つと言われている。

ある大学の先生が仰っていたことだが、昔は、外国の有名な大学にも日本人の留学生がたくさんいたが、今はほとんど見ないそう。こういった場には、世界各国から優秀な学生が集まり、ここでの繋がりが何十年後かのサミットなどの国レベルの会議においても生かされ、話し合いがスムーズにいくこともあるそう。ただ、今はそういった経験を積んだ若

	<p>い世代が少ないため、10年後あるいは20年後の日本が心配だとのことだった。</p> <p>したがって、こういったねらいを持って教育を受けた子たちが地元から育っていくことは非常に嬉しいことだと思う。ただ、一貫校だけの話にしてしまうのではなく、市立の小中学校でも先生方にそういった意識を持った中で教育に携わってもらいたいため、お互いにいい刺激になるような関わりができるといい。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>市内でも課題解決型をテーマにした現職教育を実施したり、グループでテーマを決めて、課題解決にはどうしたらいいかについて話し合いを中心に授業を組み立てていたりしている学校もある。</p> <p>今回の中高一貫校での取り組みを刺激にして、より多くの学校にも様々な実践や経験を広げていきたい。</p> <p>(教育長)</p> <p>中高一貫校とは、ライバルではないが、お互いに刺激し合って高めていく存在になればと思う。</p>
<p>6) 令和5年度 学校運営協議会 の活動報告(成 果と課題)</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和5年度は、それぞれの学校において、これまでの活動に工夫が取り入れられ、「地域とともに子どもたちを育てていこう」と、気持ちも行動も前進していると感じた。</p> <p>また、学校が、委員や地域の方が校内の様子を見て回りやすい雰囲気づくりに努めていることも感じた。</p> <p>さらには、他校の活動を参考にして新たな応援隊が発足した学校や、他校の取組を参考に、応援隊の立ち上げ方を知りたい、という学校があった。市全体の連絡会では、ぜひこのような話題で盛り上げられるよう、学校や委員の方々の声を収集して備えていきたい。</p> <p>一方、課題として、メンバーの高齢化が多くの学校から挙げられている。これは、数年来変わらない大きな課題となっている。昨年度の連絡会で話題に出したものの、解決に向けた手がかりを見つけられないままになってしまった。</p> <p>保護者世代をいかに呼び込むかということについて、うまくつながりをつくらせている学校の事例を共有するなどして、少しずつでも課題解決に近づけていきたいと考える。</p>
<p>7) 令和6年度 学校運営協議会 委員等の委嘱</p>	<p>(指導主事)</p> <p>各小中学校から推薦者名を報告していただき、「半田市立小中学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条の規定に基づき任命するもの。今年度は、委員165名、コーディネーター25名に委嘱する。この方々が中心となって、各学校の活動を進めていただくことになる。</p>

<p>8)児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等</p>	<p>(指導主事) 令和6年2月20日～令和6年3月22日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：1件 4月16日(火) 1件 問題行動(被害)等：1件 4月4日(木) 1件 交通事故以外の事故：1件 4月18日(木) 1件 学校等被害：0件 不審者情報：3件 3月28日(木) 1件 4月8日(月) 2件</p>
<p>9) 令和6年度生徒会サミット年間計画</p>	<p>(指導主事) 本年度はメインテーマを「『ふるさと半田』をよりよくするため」として、5月・9月・12月・3月の年4回開催する。 議長校は乙川中学校で、議長校の生徒主体で意見交換したり、各小中学校を巻き込んだりして取り組む活動を考えていく。また、半田をよりよくするための取り組みについて中学生目線で考えたり、アイデアを提案したりして、市の関係課や地域と連携していけたらと考え準備を進めている。</p> <p>(桂委員) 中高一貫校の附属中との関係はどうなるのか。生徒会サミットやコミュニティ・スクールを通して、市外から通学する生徒にも半田のことを知ってもらい、半田を好きになってほしい。</p> <p>(指導主事) 中高一貫校との関わりについては、現時点では未定となっている。</p> <p>(桂委員) 中高一貫校には市内の子たちもたくさん通うと思うので、交流ができればいい。交流することで市立の中学生たちも刺激をもらうのではないかな。</p> <p>(教育長) 中高一貫校とは、部活動をはじめいろいろな面において交流していきたいが、県立と市立という関係であり体制や予算も違うため、やりたくても難しいことが出てくると思う。交流することは、生徒たちのためにはいい刺激になると思う。</p> <p>(久米委員) 開校してから、見学の機会はあるか。</p>

	<p>(教育長) 具体的なことは決まっていないが、ぜひ見学してほしい。逆に、高校の先生方にも小中学校のことを知るために学校訪問などの機会に来てほしい。市内の県立高校には案内も出している。</p> <p>(木下先生) 青山中学校の学校訪問には県立の2校から来られる。県の担当者からも、積極的に参加したいと聞いている。</p> <p>(桂委員) 以前、日本福祉大学の原田学長の講演を聞いたときに、最近、地域のイメージがわからない学生が多いという話があった。地域と関わることが少なく、地域への思いが育っていかない。 生徒会サミットやコミュニティ・スクールを通じて地域と関わることで、知っている人や繋がりのある人が増えると、地域への愛着も出てくると思う。</p> <p>(指導主事) 生徒会サミットでは、子どもたちがどうしていきたいかを大事にしたい。ありがたいことに周りからは、学校と連携・協働したいという声が多いが、大人の目線によるものではなく、子ども主体でやっていきたい。</p> <p>(教育長) 半田市をよりよくしていこうということで取り組んで3年ほど経つ。学校では郷土を大事にすることも重点目標に掲げており、地域を知るための取り組みだったり、地域活動への参加も工夫しながら実践しているが、そうしたものを見てきて感じるのは、やはり地域への愛着、地域での活動というのは、親の影響が大きいということ。親が地域で活動していたり、地域に愛着を持っていれば、自然と子どももそうなることが多い。保護者にもPRしていく必要がある。</p> <p>(新美委員) 学校訪問で見えていても、我々が子どもの頃に比べると、地域に出て行ったり、地域の人との交流をしていたり、地域のことを知って好きになるような多くの取り組みをしていると感じる。</p> <p>(教育長) 生徒会サミットは充実してきているので、子どもたちの議論もおもしろい。ぜひ見に来てほしい。</p>
<p>10) 令和5年度文化活動全国大会等出場激励金の支給実績</p>	<p>(生涯学習課長) この激励金は、平成26年度から、文化活動の振興を図るため、全国大会に出場する方などへ支給しているものである。令和5年度は、25件の支給をした。都合がつく限り表敬訪問としてお越しいただき、市長や教育</p>

	<p>長から激励の言葉をかけていただくとともに、報道機関からの取材もいただき、新聞に掲載してもらうこともできた。</p>
<p>11) 令和6・7年度半田市スポーツ推進委員の選任</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>令和6・7年度の半田市スポーツ推進委員として、18名の方に委嘱した。任期は2年間で、内訳は、前期からの継続の者が15名、新任の方が3名となっている。</p> <p>前期までは22名だったが、そのうち7名の方が退任されたため、全体人数では4名の減少となった。半田市の規則上の定数が25名であり、今後、増員できるよう努める。</p> <p>スポーツ推進委員は、スポーツ基本法で地域と行政を繋ぐコーディネーターの役割を担う者と規定されており、スポーツ課としても、スポーツ推進委員のみなさまと連携し、スポーツの推進を図っていく。</p>
<p>12) 各種事業 ①セントラル愛知交響楽団との協定事業の実績報告及び事業計画</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>事業計画は前年度から大きな変化はないが、チラシで工夫した点を紹介する。</p> <p>今までのコンサートに来ていただいた方のアンケートから、「クラシックコンサートと聞くと、すごく難しそうというイメージがあるので参加しにくい」という声があったことを受けてのもので、星マークの数で、どれだけみなさんにとって親しみやすいかを表現し、より多くの方々に気軽に来ていただきたいと考えている。</p>
<p>②2024年度音楽イベントリスト「音楽のあるまち半田」</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>大きなコンサートを今年度も2回開催する。</p> <p>それ以外にも小学校や、雁宿ホールの講堂で開催するほか、音楽マルシェの事業を初めて実施する。こちらは市内の楽器屋のマツイシ楽器店と山本楽器店と一緒に事業をすることで、半田市の音楽のあるまち作りを推進していきたいとするものである。</p> <p>また、チラシでの周知の他に、若い世代にも働きかけをするため、昨年度に立ち上げたインスタグラムでも周知を図っている。</p>
<p>③「ちいさいちいさいおたのしみ会」</p>	<p>(図書館長)</p> <p>未就園児と保護者を対象に読み聞かせ活動しているボランティア団体「あんころもち」の皆さんによる取り組みである。大型絵本の読み聞かせやパネルシアターなど、日頃の読み聞かせ会にはない特別感のあるイベントとなっている。</p>
<p>④ 亀崎図書館「オタッシャ音読教室2024 皐月」</p>	<p>(図書館長)</p> <p>高齢者の皆さんの心身と脳の活性化を図り、いつまでも元気に楽しく過ごしてほしいとの思いで実施している音読教室を開催するもの。</p>

⑤初夏の旧中埜 家住宅一般公開	<p>(博物館長)</p> <p>昨年に引き続き、重要文化財旧中埜家住宅の一般公開を行う。建物や常設展示の見学と、半田高校箏曲部や日本福祉大学合奏研究会吹奏楽団、セントラル愛知交響楽団によるミニコンサートを楽しめる。</p>
⑥正八ちゃんの 端午の節句	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>GW行事として、5月3日から5日にかけて行うもの。 正八ちゃんというのは南吉の本名で、子どもの頃の南吉になったつもりでこどもの日を楽しもうという行事である。 毎年子どもたちに人気の竹とんぼおじさん、鎧の試着のほか、今年は開催中の企画展「南吉のセンス・オブ・ワンダー」にちなんでセンス・オブ・ワンダーをテーマにした朗読会、映画上映、ネイチャーゲームなども企画している。</p>
⑦童話創作講座	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>5月19日(日)、6月30日(日)の2回で、東海学園大学の高橋一元(かずもと)教授を講師に童話の書き方を学ぶもの。本講座で創作した童話を新美南吉童話賞に応募することもできる。</p>
⑧企画展「君は 即ち春を吸いこ んだのだ～南吉 のセンス・オブ・ ワンダー～」解 説パンフレット	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>4月13日から始まっている企画展「南吉のセンス・オブ・ワンダー」の展示解説パンフレットを作成した。 展示では、子どもたちが感性豊かに生きるために大切なことをレイチェル・カーソンや南吉から学ぶことができる。6月30日まで開催している。</p>
各課からの事務 連絡	<p>(給食センター所長)</p> <p>新給食センターの竣工式を8月22日の11～13時に開催する。セレモニー後、館内を見学していただき、テスト調理で作った給食を試食いただく。</p>
教育委員からの 意見提言等(1)	<p>(堀崎委員)</p> <p>久しぶりに来賓を招待しての卒園・卒業式や入園・入学式に出席したが、以前より来賓が少なく寂しさを感じた。地域とともに掲げている中で、地域の子どものための大切な行事であり、地域のみinnで祝ってあげたい。地元の区長に声をかけていない学校もあった。 また、入学式に幼稚園を呼ばないと決めた学校もあると聞いたが、幼保小中連携は、こういったことから始まるのではないかと。園長が入学式で自園から卒園した子どもの様子を見て、園での取り組みを振り返る機会にもなると思う。 来賓が増えると教員の負担が増えるのは理解するが、それは教員の都合を優先しすぎている気がして寂しい。</p> <p>(教育長)</p>

	<p>入学式や卒業式に限らず、行事や地域との関係については学校にも考えてほしいと思っている。新型コロナウイルスが流行っていたときに縮小したことを働き方改革の成功事例として、そのまま地域との関係が減ってしまっている学校もあると私も感じているので、様々な場面で学校に伝えていく。</p>
<p>教育委員からの意見提言等(2)</p>	<p>(新美委員) 部活動改革について。乙川中学校では、すでに土日は外部指導員が指導をしているが、関係者と話す中で課題が2点あると聞いた。 1点目が道具のこと。どこまで学校の部活で使っている備品をスポーツクラブと共有できるのか。スポーツクラブはすべて自前で用意しなければならないのか。例えば野球だとバット、ボール、ヘルメット、ベースなどがある。学校とスポーツクラブで協議していると聞いているが、どういった基準になっているのか。 2点目は、ライト方向の距離が短い、力の強いバッターがいたときに北側のネットを超えてしまう心配があるが、対策はとれないか。</p> <p>(スポーツ課長) 1点目の備品等について回答する。地域移行に関しては、練習場所、備品、大会出場の課題があると考えている。そのうちご質問の備品については、各中学校区に所属する団体にもいろいろな種目や道具があるため、スポーツ課が間に入って、学校とスポーツクラブの双方の意見を聞きながら調整しているところである。移行の9月までには結論を出す。</p> <p>(教育部長) 2点目の件は別の方からも話を聞いており、建築技師にも確認しているが、難しい問題である。ネットの高さを変えようとする、工期も年単位となり、また、相当な費用を要するため、現実的ではない。 大人の力であれば超えることは想定していたので、ナイターで大人が利用する野球は禁止している。中学生がネットを超えることは想定していなかった。今思いつく対策としては、飛びにくいバットを使う等の工夫をすること。他にも対策が取れないか検討する。</p> <p>(教育長) どこまでできるか一度検討してください。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局) 5月定例教育委員会 日時：5月23日(木) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室</p> <p>(教育長) 4月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 11時40分 〉